

みんなのひろば



員谷 昌稔
(中高一区)

「あたりまえ」

朝、目が覚めて、あくびをした時に、空気があるのは、「あたりまえ」顔を洗う時、水道の蛇口をひねると、水が出るのは「あたりまえ」私達の身の周りには、空気、水、土、いろいろありますが、あるのが、あ

りまえの物が無くなると私達は、どうなるのでしょうか？実はあるのがあたりまえと思われる物が無くなると、「生きていけない」ということに気付くはずですが、しかし、私達は、この大切な「あたりまえの物」を破壊しようとしていま

す。現に、環境破壊によって、数多くの生き物が絶滅しているのは、ご存知の通りです。この大自然、壊すのは簡単ですが元に戻すのは大変な努力が必要です。一人一人が「生きる」為に必要不可欠な「あたりまえ」に気が、私の命を育んでくれ

る全ての物、者に対して「ありがとう」、「おかげさま」の心を忘れずに、大切にしてほしいと思います。そして一人一人の心があたたかみのある町になってほしいと思います。

あとがき

テレビ放映が始まった9月定例議会。緊張感の中、決算審査、補正予算の議案に対し活発な質議が行われました。一般質問では、15名の議員が、諸問題を執行部にたどりました。映像を見ながら、議会を身近に感じていただけただでしょうか。今回、住民の声を特集しましたが、みなさまの感想、ご意見もお聞かせください。大山のナナカマドが、まっ赤な身をいっぴいにつけて、観光客の目を楽しませています。実がたくさんの年は、積雪が多いと聞きます。今年の冬はどうでしょう。雪が多いとスキー場が、すそ野に広がる田畑が、「大山の恵み」をたっぷり受けることができるのですが。☺

「うちごと」おごどよ



山下 敏子
(報 国)

酪農家に嫁いで二十六年。今、畜産の世界は信じられないほど厳しい時代になりました。飼料高騰、減産で収益激減、更に牛乳の消費減少と淋しくなる話ばかりですね。「元気ですよ…私！」みなさまに提案です。もつと農業に触れてみま

せんか。きつと新しい発見や楽しいことがあるはず。わが家の牛乳も心をこめて、土づくり、草づくり、牛づくりをして安心・安全、おいしい牛乳を搾っていますよ。「うちに遊びに来ませんか。」休日牛に触れてみたり、草を食べさせたり、乳搾

りとか…みなさんと私たち生産者のつながりで農業を支えてください。そうそう、うちに来られたらとおきの場所へ行きましょう。青い海、漁り火、星空…うーん、ビューティフル！

J A 女性会 と私



河崎 和子
(豊 成)

名和 J A 女性会の会員は、約80名で成り立っています。私達農家を取り巻く情勢も大変ですが、会員で話し合い、今年は、介護施設の見学にも行ったり、工夫しながら活動しています。会員の中から声が上が

「議会への傍聴に行きましょう。」さっそく傍聴に出かけました。議会中は、質問される方、答弁される町の方、少し早口で聞き取れないところもありました。皆さん町民の幸せのために、頑張ってください。感謝をして

帰りました。このように、個々が関心を持って心が通い合える会を作っていけたらと思います。

《発行責任者》

議長 鹿島 功

《広報委員会》

委員長 西尾 寿博
副委員長 遠藤 幸子
委員 岡田 聡
委員 諸遊 壤司
委員 吉原美智恵
委員 近藤 大介